

2022年2月25日発表 ICN プレスリリース

ICN は、ウクライナの看護師とすべての保健医療従事者の保護と安全が最も重要であると発言

国際看護師協会 (ICN) と世界各地の 130 を超える会員協会は、ウクライナの紛争に巻き込まれた人々、看護師、およびすべての保健医療従事者と連帯して立ち上がる。ICN は、看護師とすべての保健医療従事者の保護と安全が最も重要である、と述べている。保健医療従事者や保健医療施設に対する攻撃や標的化は、国際規制やジュネーブ条約に謳われている保健医療従事者の保護に反するものであり、人道に対する冒瀆である。

ICN は、地域の看護職と連絡を取り合い、ウクライナの看護師とつながり、支援と連帯を提供し、彼らのメッセージを世界と共有するために、あらゆる努力を行なっている。

ICN のパメラ・シプリアーノ会長は、「私たちはウクライナの状況を非常に憂慮しており、再び別の人道的危機の最前線に立たされている看護師やすべての保健医療従事者を含め、紛争に巻き込まれているすべての人々に心を寄せています」と発言した。

「看護師と保健医療システムの保護と安全は最も重要であり、国際法に明記されています。私たちは、紛争に関わるすべての当事者と国際社会に対し、しばしば命の危険にさらされながら人々のケアにあたっている看護師の安全を守るために、あらゆる手段を講じるよう要請します。都市が攻撃され、何万人もの人々が避難生活を送る中、保健医療へのアクセスと人道的援助の提供は、すべての関係者にとって優先事項であり続けなければなりません」。

ICN のハワード・カットン事務局長 (CEO) は、「私たちはウクライナの現地の状況を深く懸念しており、非常に混沌とした恐ろしい状況にある同国の看護職に連絡を取っています。私たちは、これからも彼らとつながり、彼らのメッセージを世界に発信していきます。」と付け加えた。

「看護師と保健医療従事者は、癒しと和解のための力です。保健医療の公平性、および医療と看護の中立性という原則は、人と人との間のどのような違いよりもはるかに強いものです。病院や保健医療施設への攻撃は、国際法に反するだけでなく、人道に対する冒瀆です。近代看護の原点は、150 年以上前のクリミア戦争で生まれたことを忘れてはなりません。看護師をはじめとするすべての保健医療従事者の仕事と公平性を守るとき、今日も世界中の看護界で輝き続ける人間性を維持することができます。私たちは、各国看護師協会からウクライナの看護職に対する多くの支援メッセージを受け取りました。特に、ロシア看護師協会からは悲痛なメッセージが寄せられました」。

各国看護師協会からは、ロシア看護師協会をはじめ、ウクライナの看護職への支援メッセージが寄せられている。

ロシア看護師協会のヴァレンティナ・サーキソヴァ会長は、ICN に次のようなメッセージを寄せている。

「ロシア看護師協会と世界中の看護師は、最も近い隣国の看護職を非常に心配しています。政治は看護

からかけ離れており、武力紛争は看護専門職の主な職務と相反するものです。看護師ほど生命と健康を大切にする職業は他にありません。私たちは、全世界の人々とともに、すべての紛争が速やかに解決され、通常の平和な生活が取り戻されることを望んでいます。私たちは、いかなる政治的対立も、看護の使命に影響を与えることはできないと信じています。これ以上人命が失われることがなく、すべての看護師が安全で安心できる環境の中で平和的な職務に復帰できることを、熱意を持って願っています」。